

年頭のご挨拶

和寒町長 伊藤 昭宣



新年あけましておめでとうございます。
町民の皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで輝かしい平成21年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、平素から町政に対する温かいご理解とご協力に感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、市町村を取り巻く環境は、急激な原油高による原材料価格や農業資材の高騰等により地域経済を支える農業や中小企業の経営に大きな影響を及ぼし、加えて生活物資の高騰は先行きを一層不安なものとしており、その対応に苦慮する厳しい状況下にあり、住民生活はもとより地方自治体の財政にも大きな影響を及ぼすものと大変憂慮いたしております。

このような中、本町の基幹産業であります農業は、好天に恵まれ、各作物の生育は順調に進み、水稲・畑作物とも平年作以上の作柄となり安堵したところでありますが、一部の農産物価格が低迷しており、今後の市況の上向きに期待するとともに、農業に対する国などの対策の推移を注視しているところでもあります。

一方、商工業は購買力の低下や公共事業の減少などから、大変厳しい状況にあり、商工会の皆さんを先頭に町の活性化にご尽力をいただき、商業の振興策に創意工夫されるとともに、観光協会と連携を図り、各種イベント事業にご協力をいただくなど、町の元気づくりにご奮闘をいただいております。現在そして今後の生活資材等の高騰が家計を圧迫する厳しい現状から、町民の暮らしを応援する目的で「わっさむくらし応援商品券」を発行する「生活応援緊急対策事業」を実施した経緯にあり、これが地元消費を促進するなど地域経済の活性化につながるものと確信しているところでございます。

また、行政改革につきましましては、行政改革大綱の方針に基づき、それぞれ施策を進めているところでございますが、とりわけ、今年4月からスタートしました「自治会制度」は、分権時代に相応しい協働のまちづくりに欠かすことのできない仕組みと考えており、一日も早く自治会運営が軌道にのり、地域・住民が主体となった活力ある地域づくりの核となっていくいただきますよう、ご期待を申し上げます。

町の財政状況は、自主財源に乏しく、引き続き厳しい財政運営を強いられると予想されますことから、今後効率効果的な行財政運営に努めるとともに、町民総意で「平和で住みよい 元氣な郷土 和寒町」をさらに発展させるべく邁進してまいりたいと存じますので、町民の皆さまのご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

希望に満ちて迎えた新年が町民の皆さまにとって限りなく明るい年になりますようにご祈念申し上げます。年頭にあなたのご挨拶いたします。